

# 安全上の注意事項

## Raman Rxn2





# Raman Rxn2





## 目次

1	警告ラベル.....	5
2	安全上の基本注意事項.....	6
2.1	作業員の要件.....	6
2.2	用途.....	6
2.3	電気安全性.....	6
2.4	使用上の安全性.....	6
2.5	カートに搭載されていない Raman Rxn2 を持ち上げるための装備.....	7
2.6	製品の安全性.....	7
2.7	重要安全事項.....	7
2.8	健康および安全への配慮.....	7
2.9	安全および取扱いに関する注意.....	8
2.10	レーザーの安全性.....	8
3	証明書と認証.....	10
3.1	証明書と認証 – プロダクトセンター.....	10
3.2	適合宣言 – アナライザ.....	11
3.3	合格証と認証 – Endress+Hauser Raman アナライザ.....	11
4	危険場所への設置.....	16
5	安全関連の仕様.....	17
5.1	ベースユニット.....	17
5.2	レーザー.....	17
5.3	騒音レベル.....	17

## 警告

資料構成	意味
<p><b>危険</b></p> <p>原因 ( /結果)</p> <p>不適合の影響 (該当する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・是正処置</li> </ul>	危険な状況を警告するシンボルです。この状況を回避できなかった場合、重傷または致命傷を負う可能性があります。
<p><b>警告</b></p> <p>原因 ( /結果)</p> <p>不適合の影響 (該当する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・是正処置</li> </ul>	危険な状況を警告するシンボルです。この状況を回避できなかった場合、軽傷またはそれ以上の傷害を負う可能性があります。
<p><b>注意</b></p> <p>原因/状況</p> <p>不適合の影響 (該当する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクション/注記</li> </ul>	器物を損傷する可能性がある状況を警告するシンボルです。

## シンボル

シンボル	説明
	レーザー放射を示すシンボルは、Raman Rxn2 システムの使用時に危険な可視レーザー光に暴露する危険性をユーザーに警告するものです。
	高電圧シンボルは、人体に危害を与えるほどの高電位の存在を作業員に警告するものです。一部の産業では、特定のしきい値を超える高電圧を指します。高電圧のかかる機器や導体については、特別な安全要件と安全手順を満たす必要があります。
	WEEE シンボルは、本製品を未分別の廃棄物として廃棄することが禁止されており、回収/再利用のために分別回収施設に送る必要があることを示します。
	CE マークは、欧州経済地域 (EEA) 内で販売される製品について、健康、安全、環境に関する保護基準に適合していることを示します。

米国輸出管理規則の  
遵守

Endress+Hauser の方針により、米国商務省安全保障局のウェブサイト [Bureau of Industry and Security](#) で詳述されている米国輸出管理法を厳格に遵守しています。

# 1 警告ラベル

Raman Rxn2 に貼付されている警告ラベルを以下に示します。

## 2 安全上の基本注意事項

### 2.1 作業員の要件

- 計測システムの設置、設定、操作、メンテナンスは、専門のトレーニングを受けた技術者のみが行うことができます。
- 作業を行う技術者はプラント管理者から特定作業の実施許可を受ける必要があります。
- 電気接続は電気技師のみが実施できます。
- 作業を行う技術者はこれらの取扱説明書を読んで理解し、その内容に従う必要があります。
- 測定点のエラー対応は、正式に認定された熟練技術者のみが行えます。本書に記載されていない修理は、直接製造元において、またはサービス部門のみが行えます。

### 2.2 用途

Raman Rxn2 アナライザは、ラボまたはプロセス開発環境における固体、液体、または混濁測定物の化学組成測定用に設計されています。

Raman Rxn2 は特に以下の用途に適しています。

- 化学反応の終点監視
- 固形物の結晶度監視
- アップストリームの細胞培養または発酵バイオプロセスにおける重要なプロセスパラメータの監視と制御
- 植物由来のタンパク質、乳製品固形分、細胞ベースの食品の分子構造と組成
- 低分子医薬品の多型同定と監視

指定の用途以外で本機器を使用することは、作業員や計測システム全体の安全性を損なう恐れがあるため容認されません。

### 2.3 電気安全性

ユーザーは以下の安全条件を遵守する責任があります。

- 設置ガイドライン
- 電磁両立性に関する現地の規格/規制

電磁両立性に関して、この製品は工業用途に適用される国際規格に従って試験されています。

機器および関連資料に示される電磁両立性は、適切に接続された製品にのみ適用されます。

### 2.4 使用上の安全性

全測定点の設定を実施する前に：

1. すべて正しく接続されていることを確認してください。
2. 電気ケーブルおよび光ファイバー接続に損傷がないことを確認してください。
3. 損傷した製品を使用しないでください。誤って使用することがないように、保護しておいてください。
4. 損傷のある製品にはその旨を明記したラベルを掲示してください。

使用中：

1. 不具合を修正できない場合は、製品の使用を停止し、意図しない作動から保護してください。
2. サービスおよびメンテナンス時以外は常にドアを閉め、エンクロージャー（オプション）を適切に封止してください。

#### **⚠ 警告**

**アナライザ作動中の作業により、有害物質への暴露の危険があります。**

- ▶ 化学物質または生物材料への暴露を制限するための標準的な手順に従ってください。
- ▶ 防護服、保護メガネ、保護手袋などの個人用保護具の着用や、アナライザの設置場所への物理的なアクセス制限に関する現場の方針に従ってください。
- ▶ 適切な現場の方針および清掃手順に従って、漏出物を清掃してください。

#### **⚠ 警告**

**アナライザのドアストッパ機構により負傷する危険があります。**

- ▶ エンクロージャーを開ける必要がある場合は、必ずアナライザのドアを完全に開き、アナライザのドアストッパを適切にロックしてください。

## 2.5 カートに搭載されていない Raman Rxn2 を持ち上げるための装備

Raman Rxn2 には、ベースユニットの両側にそれぞれ2つ、合計4つのリフトハンドルがあります。

### 警告

- ▶ Raman Rxn2 機器を持ち上げて移動させる場合は、2人で行ってください。ベースユニットの両側に1人ずつ立ち、それぞれが2つあるハンドルを使用してください。

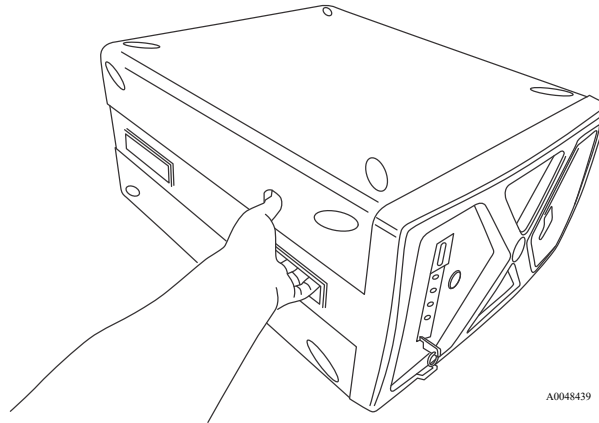



図 1. Raman Rxn2 一体型リフトハンドル

### 警告

- ▶ カートに搭載されていない機器を移動させる前にファイバーケーブルを外してください。

## 2.6 製品の安全性

本製品は指定用途における各国の安全要件に適合するよう設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されています。適用されるすべての規制および国際規格に準拠します。アナライザに接続された機器は、該当する安全基準にも準拠する必要があります。ユーザーはプローブ固有の製品の安全性に関する注意事項に従ってください。詳細については、[レーザーの安全性](#) →  を参照してください。

## 2.7 重要安全事項

- 指定用途以外には Raman Rxn2 を使用しないでください。
- 電源コードをカウンターの上や高温の表面など、電源コードの完全性が損なわれるような場所に垂らさないでください。
- Raman Rxn2 の筐体を開けないでください。
- レーザー光を直視しないでください。
- 放射されたレーザー光が、鏡面や光沢面から乱反射しないようにしてください。
- 作業場所にある光沢面を最小限に抑え、必ずレーザー光ブロックを使用してレーザー光の散乱を防止してください。
- アナライザに取り付けられた未使用のプローブを、キャップまたはブロックのない状態で放置しないでください。

## 2.8 健康および安全への配慮

適用されるすべての安全規則を理解し、遵守する責任はユーザーにあります。これらはアナライザの設置場所に応じて異なります。Endress+Hauser は、いかなる設置場所においても安全な運用手順を網羅したリストの設定に関する責任を負うことは一切なく、その責任は各国の機器のユーザーまたは所有者が負うものとします。

Raman Rxn2 を使用する場合は、必ず以下の対策およびレーザーに関する安全注意事項に従う必要があります。

- Raman Rxn2 は、[医療機器・放射線保健センター](#) (CDRH) クラス 3B 機器です。ユーザーは適切な保護メガネを着用する必要があります。Raman Rxn2 は、IEC 60825-1 のクラス 3B 機器にも分類されています。
- Raman Rxn2 は、適切かつ安定した電源が供給される場所でのみ使用してください。
- 各国の安全規則に適合するためにインターロックが必要な場合は、Raman Rxn2 アナライザが設置されている部屋またはエリアへのすべての出入口のドアおよび通路に、クラス 3B レーザーエリアを明確に示す警告表示を取り付ける必要があります。

## 2.9 安全および取扱いに関する注意

Raman Rxn2 アナライザには、532 nm、785 nm、または 993 nm のレーザー励起光源が内蔵されています。レーザーが ON の状態でアナライザやプローブを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。


- ファイバー接続やプローブの検査を行う前に、Raman Rxn2 の前面にあるキーを使用してレーザー出力を OFF にします。
- 使用するプローブに関するレーザーの安全上の注意事項に従ってください。
- ファイバープローブの出力部（オプティックが接続されていない場合）や、その他のプローブの出力部（ウィンドウ）を直接のぞかないでください。

## 2.10 レーザーの安全性

レーザー光には、他の光源にはない特別な安全に対する危険が存在します。レーザーを使用するすべてのユーザー、およびその場にいる人は、レーザー光に関する特殊な特性や危険を認識する必要があります。Raman Rxn2 および強いレーザー光の特性を熟知していることが、Raman Rxn2 の安全な操作に役立ちます。Raman Rxn2 では、532 nm、785 nm、または 993 nm のレーザーを使用することが可能です。どのレーザーが使用されるかについては、お使いのシステムの仕様情報をご確認ください。狭い領域に集中した強力な単色光の組み合わせは、特定の条件下でレーザー光への暴露が潜在的に危険であることを意味します。職場環境において、レーザーの安全プログラムにより、レーザーに関連する損傷や職場の損害リスクを低減するための環境、トレーニング、安全管理が提供されます。レーザーおよびその危険性への対処において、適切な予防措置を講じ、適切な管理を規定するためのさらなる支援については、ANSI Z136.1（レーザーの安全な使用に関する規格）または IEC 60825-14（レーザー製品の安全性に関する規格）の最新版を参照してください。Raman Rxn2 アナライザは、インターロックや光ファイバークーブルのレーザー出力を覆うスプリング式保護キャップなど、レーザーによる負傷のリスクを低減するハードウェア安全装置を備えています。

ビームは、機器のリヤパネルから光ファイバークーブルを介した経路となります。万が一、光ファイバークーブルが取り外され、インターロックが解除され、スプリング式保護キャップが解除された場合、アナライザユニットからレーザー光が放出されます。ビーム直径は 103 μm、開口数 (NA) は 0.29 となります。

以下の表は、アナライザユニットから直接レーザーが放出される場合のファイバークーブルサイズとモード、ならびに公称眼障害距離の方程式を示しています。

使用されるベースユニット	ファイバークーブルサイズとモード	公称眼障害距離 (NOHD) の方程式
		
Raman Rxn2	103 μm マルチモード (NA = 0.29)	$r_{NOHD} = 1.7 / NA (\Phi / \pi MPE)^{1/2}$ マルチモード方程式
532 nm 連続観察での MPE : $1 \times 10^{-3} \text{ W} \cdot \text{cm}^{-2}$ 785 nm 連続観察での MPE : $1.479 \times 10^{-3} \text{ W} \cdot \text{cm}^{-2}$ 993 nm 連続観察での MPE : $3.854 \times 10^{-3} \text{ W} \cdot \text{cm}^{-2}$		
Φ = 最大出力 (W)		

アナライザにプローブが装備されている場合は、別の公称危険ゾーン計算を行う必要があります。使用するプローブ、ビーム直径、プローブヘッドに接続する光ファイバークーブルの開口数、プローブヘッドの集束特性に応じて、また潜在的な暴露点がプローブの先端であるか、光ファイバーの破断部分であるかによって、公称危険ゾーンの計算は変わります。その他の暴露点に関する公称危険ゾーン計算を行うための適切な情報については、関連する Endress+Hauser Raman プローブの取扱説明書の仕様セクションを参照してください。

### 警告

- ▶ レーザー光は、揮発性化学物質などの特定の物質を発火させる可能性があります。発火点までのサンプルの直接的な加熱と、発火に至る臨界点までの混入物質（粉塵など）の加熱の 2 つが、発火のメカニズムとして考えられます。

### 危険

- ▶ Raman Rxn2 は、ANSI Z136.1 で規定されているクラス 3B レーザーを使用しています。レーザーの出力ビームが直接目に入ると、深刻な損傷や失明の可能性があります。
- ▶ 本書に記載されている以外の操作や調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射光暴露につながる恐れがあります。

レーザーおよびその危険性への対処において、適切な予防措置を講じ、適切な管理を規定するためのさらなる情報については、ANSI Z136.1（レーザーの安全な使用に関する規格）の最新版を参照してください。



### 2.10.1 光学的安全性

Raman Rxn2 には、クラス 3B のレーザーが搭載されています。785 nm および 993 nm のレーザーは、ほぼ目に見えないため、さらなる安全上の懸念があります。レーザーの初期方向と有り得る散乱経路に常に注意してください。532 nm および 785 nm の励起波長には OD3 以上、993 nm の励起波長には OD4 以上の保護メガネの使用を強く推奨します。

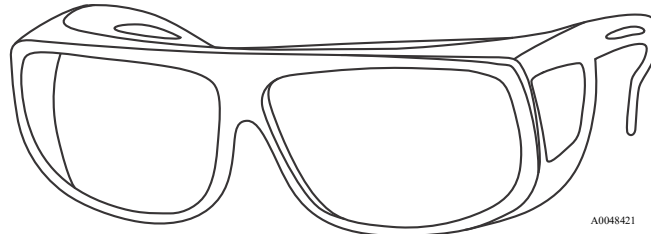


図 2. レーザー保護眼鏡

### 2.10.2 電気安全性

Raman Rxn2 では、エンクロージャー内で AC および DC 電圧が使用されます。レーザーアセンブリ内部には修理可能な部品がないため、レーザーエンクロージャーを分解しないでください。高電圧電子機器を熟知した有資格者のみが、必要なメンテナンスやサービスを行うためにシステムのエンクロージャーを開けることができます。

### 2.10.3 CDRH 適合性

Raman Rxn2 は、[連邦規則集 Code of Federal Regulations \(CFR\), Chapter I, Subchapter \(J\)](#) のレーザー性能要件を満たすように設計および製造されており、CDRH に登録されています。

Raman Rxn2 の製品レポートは、登録番号 1110121 でご覧いただけます。

#### 2.10.3.1 保護ハウジング

Raman Rxn2 は、連邦規則集 Code of Federal Regulations (CFR) Section 1040.10 (f) (1) に規定されたクラス I 放射の制限を超える人体の被曝を防止するため、保護ハウジングに格納されています（クラス 3B の出力部を除く）。

#### 2.10.3.2 リモートインターロックコネクタ

Raman Rxn2 には、各チャンネルにリモートインターロックコネクタが装備されています。このコネクタにより、オペレータは Raman Rxn2 の操作と連動する外部インターロック回路を利用できます。外部インターロック回路の設計と機能は、最新改訂版の [ANSI Z136.1](#) 規格の機能と意図を満たす必要があります。ファイバーコネクタとリモートインターロックコネクタの両方が接続されていない限り、特定のチャンネルのレーザー光は放射されません。

#### 2.10.3.3 キー制御

Raman Rxn2 はキー制御システムを採用しています。システムキースイッチが **ON** 位置になるまで、レーザー光は使用できません。キースイッチが **ON** 位置のときには、キーを取り外すことはできません。

#### 2.10.3.4 適合ラベル

Raman Rxn2 アナライザは、CDRH が管理する連邦規則集 Code of Federal Regulations (CFR), Chapter I, Subchapter (J) に準拠していることが認証されています。

### 2.10.4 WEEE 指令準拠

Raman Rxn2 は、[電気電子機器廃棄物 \(WEEE\) 指令 2012/19/EU](#) に準拠します。以下の WEEE シンボルが、WEEE に準拠するすべての製品に表示されています。



図 3. WEEE シンボル

## 2.10.5 特定の使用条件

1. レーザー出力をプローブに接続する光ファイバーケーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径をより大きくなるようにして敷設すること。
2. 必要に応じて、プロセスレベルを監視して、不注意により光ビームが爆発性雰囲気さらされないようにしてください。この場合、レベルの監視には、本質安全機器または単純機器として分類される機器を使用する必要があります。EPL (機器保護レベル) Ga 機器の場合は耐障害性 2、EPL Gb 機器の場合は耐障害性 1 を提供するように設置する必要があります。この場合、機能安全は Raman Rxn2 アナライザの本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者の責任となります。詳細については、[危険場所認証](#) → [👉](#) を参照してください。
3. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本質安全 (IS) 電氣的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C (131 °F) 以上である必要があります。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法でユーザーに伝えられる必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

## 3 証明書と認証

### 3.1 証明書と認証 – プロダクトセンター

資料	資料番号	製品/プロセス	規格/要件
ISO 14001:2015 適合宣言書	4002039 (製造者)	Raman 分光器の設計および製造 (ソフトウェアを含む) ; 特殊ホログラフィックアセンブリ、素子、コンポーネント	ISO 14001:2015 ANSI/AIHA Z10:2012
ISO 9001:2015 認証書	認証登録番号 74 300 2705	Raman 分光器の設計および製造 (ソフトウェアを含む) ; 特殊ホログラフィックアセンブリ、素子、コンポーネント	ISO 9001:2015
品質保証通知 (QAN) Raman アナライザおよびプローブ	認証書登録番号 01 220 093059	Endress+Hauser 製 Rxn* アナライザベースユニットおよび Rxn-20、Rxn-30、Rxn-40、Rxn-41 プローブの製造、最終検査/試験 防爆構造: 「d」、 「p」、 「i」、 「op is」	指令 2014/34/EU 付属書 IV
IECEX 品質評価レポート (QAR) 認証書	QAR 参照番号 DE/TUR/QAR11.0001/XX* 以前のバージョンの関連 認証書	Endress+Hauser、アナライザベースユニット、Rxn-20、Rxn-30、Rxn-40 プローブ 保護コンセプト 耐圧防爆構造 - "Ex d"、 内圧防爆構造 "p"、本質安全防爆構造 "i"、光放射防爆構造 "op is"	関連 QAR DE/TUR/QAR11.0001/00 DE/TUR/QAR11.0001/01 DE/TUR/QAR11.0001/02 DE/TUR/QAR11.0001/03

\*最後の 2 つの数字は最新レポートに応じて変わります。

#### 注意

Raman Rxn2 ユニットの爆発性雰囲気に対する認証を取得している場合、アナライザの出力のみが認証を取得していることに注意してください。アナライザ自体は認証を取得していません。

## 3.2 適合宣言 – アナライザ

資料 (製造者資料番号)	製品	規則	規格	認証
EU 適合宣言 : Rxn2 IoT ATEX	RXN2-532 IoT、 RXN2-785 IoT、 RXN2-1000 IoT	欧州指令 : <a href="#">EMC 2014/30/EU</a> <a href="#">ATEX 2014/34/EU</a> <a href="#">LVD 2014/35/EU</a> <a href="#">RoHS 2011/65/EU</a>	適用される整合規格またはその基準となる文書 : <a href="#">IEC 61010-1 2017</a> <a href="#">EN 61326 2013</a> <a href="#">EN 60079-11 2012</a> <a href="#">EN 61000-3-2 2014</a> <a href="#">IEC 60825-1 2014</a> <a href="#">EN 60079-28 2015</a> <a href="#">EN 61000-3-3 2013</a> <a href="#">EN 60079-0 2018</a> <a href="#">EN 50495 2010</a>	CE 型式検定認証番号 : CSANe 22ATEX 1037 X、 発行者 : CSA (2813) 品質保証 : TÜV Rheinland (0035)
Raman Rxn アナライザ – マーキング許諾 (危険場所)	Raman アナライザ : プローブおよびセンサ用本質安全出力付き : Class I、Division 1、Groups A、B、C、D で使用、周囲温度範囲 : 5°C (41 °F) ≤ Tamb ≤ 35°C (95 °F) RXN2 IoT、RXN4 IoT	CSA-C22.2 No. 61010-1-12 第 3 版 CAN/CSA C22.2 No. 60079-0:19 CAN/CSA C22.2 No. 60079-11:14 CAN/CSA C22.2 No. 60079-28:16 ANSI/UL 913-2019、第 8 版 UL 61010-1、第 3 版 (2012) + R:15Jul2015 UL 60079-0 第 7 版 UL 60079-11 第 6 版 ANSI/UL 60079-28 第 2 版		CSA Group

## 3.3 合格証と認証 – Endress+Hauser Raman アナライザ

### 1.1.1 CSA 適合証明書 : Raman Rxn2 アナライザ

Raman Rxn2 アナライザを危険場所用設置図 (4002396) に準拠して設置した場合、[カナダ規格協会](#)により、米国およびカナダにおける危険場所での使用が認可されます。

記載の製品は「C」および「US」マークの横 (カナダおよび米国) (製品がカナダと米国の両方の規格要件に従って製造されたことを示します) または「US」マークの横 (米国のみ) に、あるいは他のマークなし (カナダのみ) で CSA マークを表示できます。



図 4. 米国およびカナダにおける危険場所での機器の使用が認可されていることを示すラベル

<b>製品 :</b>	Raman Rxn2 アナライザ CLASS - C225804 - プロセス制御機器 - 本質安全 - 危険場所用 CLASS - C225884 - プロセス制御機器 - 本質安全 - 危険場所用 - 米国規格の認証取得済み
<b>マーキング</b>	Class I、Division 1、Groups A、B、C、D または [Ex ia] Class I、Division 1、Groups A、B、C、D : [Ex ia Ga] IIC Class I、Division 2、Groups A、B、C、D : [Ex ia Ga][op sh Gb] IIC
<b>周囲温度 :</b>	5~35 °C (41~95 °F)

#### 認証条件 :

1. 各地域/国において適用されるすべての規則、および管理図面 4002396 の規定に従って設置すること。
2. 本製品は屋内の非危険場所でのみ使用できます。
3. センサプローブやその他の関連機器は本件取扱いの範囲外となります。
4. 製造者は適切なレーザー安全基準に準拠する責任を負います。
5. レーザー出力をパイロットプローブに接続する光ファイバーケーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径より大きくなるようにして敷設すること。

6. 光ビームが爆発性雰囲気さらされないようにプロセスレベルを監視する必要がある場合、レベルを監視する機器は本安機器であるか単純機器として扱われるものでなくてはならず、耐障害性 2（カテゴリ 1 の機器の場合）または耐故障性 1（カテゴリ 2 の機器の場合）を提供するように機器を設置すること。この場合、機能安全は本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者/使用者の責任となります。
7. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本安電氣的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C 以上であることが必要です。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法で上位システムに伝達する必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

#### 適用される要件/規格：

- CSA-C22.2 No. 61010-1-12 第 3 版 測定、制御、実験用電気機器の安全要求事項 - 第 1 部：一般要件
- CAN/CSA C22.2 No. 60079-0:19 爆発性雰囲気 - 第 0 部：総則
- CAN/CSA C22.2 No. 60079-11:14（第 6 版）本質安全による機器の保護
- CAN/CSA C22.2 No. 60079-28:16 爆発性雰囲気 - 第 18 部：封入による機器の保護

#### 注意

プローブおよびケーブルの取扱いには十分注意してください。


- ▶ ファイバーケーブルがねじれないように注意しながら、最小曲げ半径 152.4 mm（6 インチ）より大きくなるように敷設してください。
- ▶ 最小半径を超えて曲げると、ケーブルが恒久的に損傷する可能性があります。

### 3.3.1 ATEX 適合証明書：Endress+Hauser Raman アナライザ

Raman Rxn2 アナライザは、2014 年 2 月 26 日付の欧州議会および欧州理事会の指令 2014/34/EU 第 17 条に準拠した危険場所での使用について、第三者認証を取得しています。アナライザは、欧州およびその他の ATEX 認証機器の承認国で使用するための ATEX 指令の認証を取得しています。



図 5. 危険場所で使用するための ATEX ラベル

製品：	Raman RXN2 アナライザ
マーキング	Ex [ia Ga] [op sh Gb] IIC CE 0035  II (2)(1) G
周囲温度：	5~35 °C (41~95 °F)

#### 認証条件：

1. レーザー出力をプローブに接続する光ファイバーケーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径をより大きくするようにして敷設すること。
2. 光ビームが爆発性雰囲気さらされないようにプロセスレベルを監視する必要がある場合、レベルを監視する機器は本安機器であるか単純機器として扱われるものでなくてはならず、耐障害性 2（カテゴリ 1 の機器の場合）または耐故障性 1（カテゴリ 2 の機器の場合）を提供するように機器を設置すること。この場合、機能安全は本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者/使用者の責任となります。
3. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本安電氣的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C (131 °F) 以上であることが必要です。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法でユーザーに伝えられる必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

#### 適用される要件/規格：

以下の遵守により、必須健康安全要求事項（EHSR）の遵守が保証されています。

- EN IEC 60079-0:2018

- EN 60079-11:2012
- EN 60079-28:2015
- EN 50495:2010

### 注意

プローブおよびケーブルの取扱いには十分注意してください。ファイバーケーブルはねじらず、最小曲げ半径（約 6 インチ）が維持されるように配線する必要があります。これに従わなかった場合、ケーブルが永続的な損傷を受ける可能性があります。

### 3.3.2 IECEx 適合証明書：Endress+Hauser Raman アナライザ

Raman Rxn2 アナライザは、危険場所用設置図（4002396）に準拠して設置した場合、爆発性雰囲気に関する国際電気標準会議（IEC）の認証制度での認証マークを表示できます。

製品：	Raman RXN2 アナライザ
マーキング	Ex [ia Ga] [op sh Gb] IIC IECEx CSAE 22.0024X
防爆構造：	本質安全防爆構造 "ia" および光放射防爆構造（インターロックによる光放射の遮断）"op sh"
周囲温度：	5～35 °C（41～95 °F）

#### 認証条件：

1. レーザー出力をプローブに接続する光ファイバーケーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径をより大きくするようにして敷設すること。
2. 光ビームが爆発性雰囲気にさらされないようにプロセスレベルを監視する必要がある場合、レベルを監視する機器は本安機器であるか単純機器として扱われるものでなくてはならず、耐障害性 2（EPL Ga 機器の場合）または耐故障性 1（EPL Gb 機器の場合）を提供するように機器を設置すること。この場合、機能安全は本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者/使用者の責任となります。
3. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本安電気的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C（131 °F）以上であることが必要です。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法でユーザーに伝えられる必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

#### 適用される要件/規格：

本証明書および特定文書の一覧表において、本機器および機器バージョンは、以下の規格に準拠することが確認されています。

- IEC 60079-0:2017
- IEC 60079-11:2011
- IEC 60079-28:2015

### 3.3.3 UKCA 適合証明書：Endress+Hauser Raman アナライザ

Raman Rxn2 アナライザを危険場所用設置図（4002396）に準拠して設置した場合、UKSI 2016:1107（爆発性雰囲気での使用を目的とした機器および保護システム規制（2016 年））の規制 42 に準拠した危険場所での使用について、第三者認証を取得し、これに準拠していることが確認されています。



図 6. 危険場所で使用するための UKCA ラベル

製品：	RXN2 アナライザ
マーキング	Ex [ia Ga] [op sh Gb] IIC CE 0035 UK II (2)(1) G
周囲温度：	5～35 °C（41～95 °F）



**認証条件：**

1. レーザー出力をプローブに接続する光ファイバーケーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径をより大きくなるようにして敷設すること。
2. 光ビームが爆発性雰囲気さらされないようにプロセスレベルを監視する必要がある場合、レベルを監視する機器は本安機器であるか単純機器として扱われるものでなくてはならず、耐障害性 2（カテゴリ 1 の機器の場合）または耐故障性 1（カテゴリ 2 の機器の場合）を提供するように機器を設置すること。この場合、機能安全は本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者/使用者の責任となります。
3. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本安電氣的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C (131 °F) 以上であることが必要です。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法でユーザーに伝えられる必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

**適用される要件/規格：**

以下の遵守により、必須健康安全要求事項（EHSR）の遵守が保証されています。

- EN IEC 60079-0:2018
- EN 60079-11:2012
- EN 60079-28:2015
- EN 50495:2010

**注意**

プローブおよびケーブルの取扱いには十分注意してください。

- ▶ ファイバーケーブルがねじれないように注意しながら、最小曲げ半径 152.4 mm (6 インチ) より大きくなるように敷設してください。
- ▶ 最小半径を超えて曲げると、ケーブルが恒久的に損傷する可能性があります。

**3.3.4 JPEX 適合証明書：Endress+Hauser Raman アナライザ**

Raman Rxn2 アナライザを危険場所用設置図（4002396）に準拠して設置した場合、危険場所での使用について第三者認証を取得し、これに準拠していることが確認されています。



図 7. 危険場所で使用するための JPEX ラベル

#	名称
1	認証を取得した年/月
2	合格証番号
3	製造者名

製品： RXN2 アナライザ  
 マーキング Ex [ia Ga] [op sh Gb] IIC  
 周囲温度： 5～35 °C (41～95 °F)

**認証条件：**

1. レーザー出力をプローブに接続する光ファイバークーブルは、ケーブルメーカーが規定する最小曲げ半径をより大きくなるようにして敷設すること。
2. 光ビームが爆発性雰囲気さらされないようにプロセスレベルを監視する必要がある場合、レベルを監視する機器は本安機器であるか単純機器として扱われるものでなくてはならず、耐障害性2（カテゴリ1の機器の場合）または耐故障性1（カテゴリ2の機器の場合）を提供するように機器を設置すること。この場合、機能安全は本認証の評価対象外となるため、適切な保護機構の確保は、設置者/使用者の責任となります。
3. 本認証の対象外の外部機器に本安信号を生成するために、本安電氣的絶縁体をメインエンクロージャーに付加する場合、本安ガルバニック絶縁の周囲動作温度の上限値は、55 °C (131 °F) 以上であることが必要です。この絶縁体に関する本安パラメータは、適切な方法でユーザーに伝えられる必要があります。このような回路の本質安全性は、本認証の評価対象外であり、本証明書は、これらの本安回路が関連要件に適合していることを示すものではありません。

**適用される要件/規格：**

以下の遵守により、必須健康安全要求事項（EHSR）の遵守が保証されています。

- IEC 60079-0:2017 (JNIOOSH-TR-46-1:2020)
- IEC 60079-11:2011 (JNIOOSH-TR-46-6:2015)
- IEC 60079-28:2015 (JNIOOSH-TR-46-11:2020)
- EN 50495:2010

**注意**

**プローブおよびケーブルの取扱いには十分注意してください。**

- ▶ ファイバークーブルがねじれないように注意しながら、最小曲げ半径 152.4 mm (6 インチ) より大きくなるように敷設してください。
- ▶ 最小半径を超えて曲げると、ケーブルが恒久的に損傷する可能性があります。

## 4 危険場所への設置

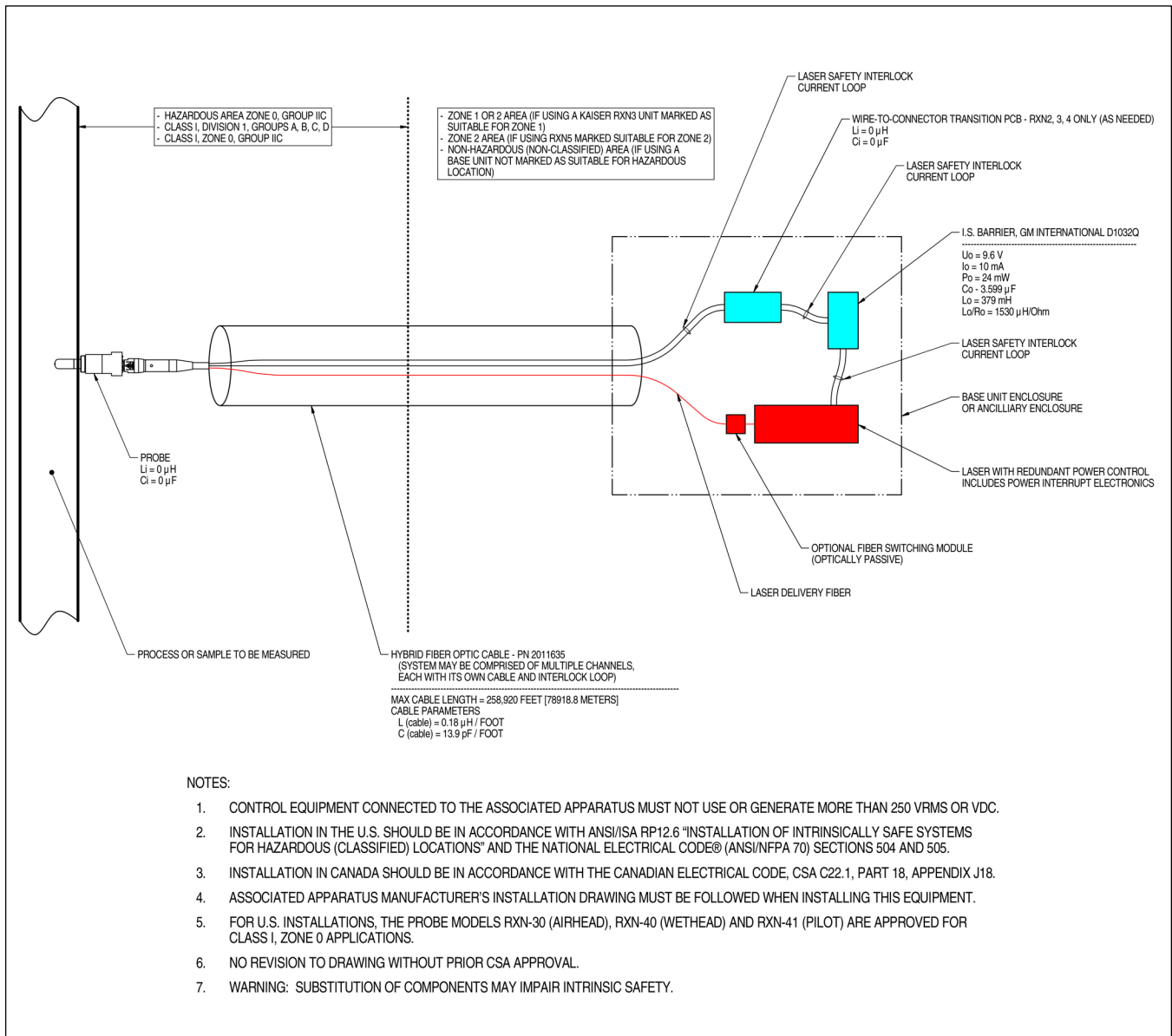


図 8. 危険場所用の機器取付図面

A0049010



## 5 安全関連の仕様

Raman Rxn2 アナライザは、複数の異なるレーザー波長のいずれかを使用して動作するように構成することができます。現在、Raman Rxn2 アナライザは、532 nm、785 nm、993 nm のレーザーから 1 つ選ぶことができます。

### 5.1 ベースユニット

項目	説明
動作温度 (532 nm、785 nm)	5~35 °C (41~95 °F)
動作温度 (993 nm)	5~30 °C (41~86 °F)
保管温度	-15~+50 °C (5~122 °F)
相対湿度	20~80 %、結露無き事
ウォームアップ時間	120 分
動作電圧	100~240 V、50~60 Hz、±10 %
過渡過電圧	過電圧カテゴリ 2
消費電力 (最大)	400 W
(標準的な起動時)	250 W
(標準的な動作時)	120 W
高度	2000 m 以下
汚損度	2
保護等級	IP20

### 5.2 レーザー

項目	説明
<b>532 nm</b> 励起波長 最大出力 保証	532 nm 120 mW 1 年間または 5000 時間
<b>785 nm</b> 励起波長 最大出力 保証	785 nm 400 mW 時間無制限で 1 年間
<b>993 nm</b> 励起波長 最大出力 保証	993 nm 400 mW 時間無制限で 1 年間

### 5.3 騒音レベル

アナライザ/アクセサリ	オペレータの位置からの騒音レベル
Raman Rxn2	58.9 dB
容器組込型の顕微鏡	53.5 dB
Invictus レーザー (単体使用時) – 785 nm	54.0 dB

[www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)

---